

各 位

2021年6月7日

アグリペディア株式会社

## 後藤逸男先生登壇・年間オンライン講義開催決定！

### 『土と施肥の基礎知識～土壌診断と健康な土づくり～』

アグリペディア株式会社（代表取締役：石田渡）は、全国土の会（会長：後藤逸男）協力のもと、通年のオンライン講義（90分/回・計10回）をzoom上にて開催します。全国の生産者に土づくりに関する体系的な講義を提供することで、日本農業のさらなる発展へ寄与することを目指しております。



#### 年間オンライン講義開催の背景

アグリペディア主催「メタボ土壌を解消するための健康な土づくりセミナー」（2021年4月24日開催・後藤逸男氏登壇）を通じ生産者と直接関わる中で、生産者の中には十分な栽培指導を享受できていない方がいることが、またオンラインでの講義という形式により、地域を問わず多数の生産者の土壌・肥料の課題に対処できることが判明しました。今後、十分な栽培指導を享受できていない生産者へのサービス提供という意味を踏まえて、通年で生産者向けにオンライン講義を開催することが決定致しました。

## 【講義詳細】

### 講義題目

『土と施肥の基礎知識～土壌診断と健康な土づくり～』

### 講義の目標・概要

土と施肥に関する基礎知識を身に付け、高品質で土壌病害に罹りにくい作物生産の手法を学びます。

まずは「土とは何か」という広いテーマを学び、土の物理性・化学性・生物性などの土の科学と施肥の基礎知識をつけてもらうことを目指します。

その後、土壌診断の方法や土壌診断分析結果に基づいた施肥、土壌病害の防ぎ方、土壌改良資材、緑肥の使い方など個別の手法論を学びます。

本講義を通年で受講することで、土と施肥に関する体系的な知識が身につき、土壌診断分析に基づいた土づくりを行えるようになります。

### 講師プロフィール

○後藤 逸男（ごとう いつお）氏

1975年3月東京農業大学大学院修士課程修了。1995年東京農業大学教授。

2015年3月東京農業大学定年退職。

〈現職〉

東京農業大学名誉教授

農家のための土と肥料の研究会「全国土の会」会長

東京農大発(株)全国土の会 代表取締役



### 講義計画

- 第1回「土づくりの基本①土の科学」  
(2021年7月上旬開講予定)
- 第2回「土づくりの基本②施肥の科学」  
(2021年8月上旬開講予定)
- 第3回「土壌診断をやってみよう(土壌診断は穴掘りから)」

(2021年8月下旬開講予定)

○第4回「施設園芸の土づくりと施肥」

(2021年9月中旬開講予定)

○第5回「露地畑の土づくりと施肥」

(2021年10月中旬開講予定)

○第6回「土の健康と土壌病害」

(2021年11月中旬開講予定)

○第7回「転炉スラグを活用した土壌病害克服事例」

(2021年12月中旬開講予定)

○第8回「土壌改良資材～ゼオライトを上手に使おう」

(2022年1月中旬開講予定)

○第9回「国産リサイクル肥料のすすめ」

(2022年2月中旬開講予定)

○第10回「緑肥の活用～メタボ土壌にならないための健康な土づくり」

(2022年3月中旬開講予定)

## 【実施概要】

期間・回数：2021年7月上旬～2022年3月 計10回

形式：Zoomウェビナー（90分）

時間帯：19:00～20:30

※質疑応答の状況によっては、30分程度延長の可能性がございます。

定員：200名（年間を通して固定）

申し込み方法：下記の応募申し込みフォームよりお申し込みください。

締め切り：6月30日（水）23:59

<https://forms.gle/X67iwSBDXD8Mujf7A>

※万が一講義に参加できなかった場合は、運営から録画URLをお送りします。

欠席の際は下記メールアドレスにご連絡ください。

[f.kobayashi@agripedia.co.jp](mailto:f.kobayashi@agripedia.co.jp)

## 受講費用

一般受講費：年間10,000円（税込）

全国土の会会員\*受講費：年間7,500円（税込）

注\*：2021年度会員登録済みの個人・法人・支部・賛助会員に限ります。

2021年度会員登録の有無確認につきましては、全国土の会事務局に照会して下さい。

全国土の会事務局：[soil@nodai.ac.jp](mailto:soil@nodai.ac.jp) 電話：03-3426-1771

## 参考書

全国土の会30周年記念誌『土と施肥の基礎知識』

注：受講費用とは別途で、参考書代1,000円が必要となります。

購入は必須ではございませんが、講義をより深く理解するためにも、購入推奨とさせていただきます。なお、既にお持ちの方はご購入いただく必要はございません。



1. 作物づくりの土は土づくりのブーム	1
2. 土はどのようにできているか	3
3. 土の層と土質	5
4. 土の形成過程と土壌層	7
5. 土の有機成分	11
6. 土の物理性(土のふけと水持力)	13
7. 土の化学性(土のpHと電気伝導率)	15
8. 土の化学性(土の養分)	17
9. 土の化学性(土の酸性)	19
10. 土の化学性(土の中のリン酸の移動)	21
11. 土の生物性	23
12. 土壌診断はなぜ必要から	25
13. 土壌診断分析結果の見方	27
14. 肥料スラブの特性と使い方	29
15. ゼオライトの特性と使い方	31
16. 土の腐熟と土壌管理	33
17. 堆ごみ処理は環境にやさしい「努力」を	35
18. 「北方」を築きまな「努力」を	39
19. 堆肥は環境にやさしい	41
20. 堆肥を効果的に	43
21. 堆肥の活用(堆肥のふどりくん)	45
22. 堆肥の活用(堆肥のふどりくん)	47

### 1. 作物づくりの土は土づくりのブーム

1. 土壌改良の重要性  
作物は、植物と土壌に密着して育つ。土壌の性質が作物の生育に大きく影響する。土壌改良は、作物の生育を促進し、収量を向上させるために不可欠である。土壌改良には、有機物の施用、石灰の施用、堆肥の施用などがある。土壌改良は、作物の生育を促進し、収量を向上させるために不可欠である。

2. 土壌改良の方法  
土壌改良の方法には、有機物の施用、石灰の施用、堆肥の施用などがある。有機物の施用は、土壌の有機物を増加させ、土壌の保水能力を向上させる。石灰の施用は、土壌のpHを調整し、養分の吸収性を向上させる。堆肥の施用は、土壌の有機物を増加させ、土壌の保水能力を向上させる。

3. 土壌改良の効果  
土壌改良の効果には、作物の生育を促進し、収量を向上させる、土壌の保水能力を向上させる、土壌のpHを調整し、養分の吸収性を向上させるなどがある。

## 全国土の会について

「全国土の会」とは、平成元年(1989年)に設立された農家のための土と肥料の研究會です。その目的は農業者が土壌診断結果に基づいた土壌改良・施肥管理を実践することで、貴重な肥料資源の節約や有機質資源の有効利用を図り、農業生産経費ばかりではなく環境負荷軽減を図ります。また、高品質農産物を生産し、環境及び農業経営にも、やさしい農業を実践することです。

「全国土の会」のホームページ：<https://tsutinokai.co.jp/soil/>

## アグリペディア株式会社について

現在、若手農家・農業法人数が地域農業を支えつつあります。一方で、一部の若手農家・農業法人は、十分な栽培指導を受けることができていないという現状があります。

また、従来型の栽培指導は地域に限られていることが多く、生産者にとっては他産地の情報が入りにくい状況にありました。

アグリペディア株式会社は、上記の問題を解決するために、チャットやビデオ会議で専門家に栽培相談ができる「オンライン栽培相談サービス」を提供しています。

「『知』の共有を通じて新時代の農業をサポートする」という理念のもと、全国の若手農家・農業法人を支援して参ります。

### **【会社概要】**

会社名：アグリペディア株式会社

所在地：東京都目黒区柿の木坂1-17-1 永大ビル3B

代表者：代表取締役 石田渡

設立：2019年6月

URL：<https://agripedia.co.jp>

事業内容：オンライン栽培相談サービスの提供

### **【お客様からのお問い合わせ先】**

会社名：アグリペディア株式会社

TEL：03- 5860- 2552

FAX：03-6369-4507

e-mail：[f.kobayashi@agripedia.co.jp](mailto:f.kobayashi@agripedia.co.jp)

## 申し込みフォーム以外からのお申し込み方法

### ◆電話申し込みの場合

「オンライン講義の申し込み」の旨をお伝えください。

その後、担当者がお名前等必要情報をお伺いします。

### ◆FAX・メール申し込みの場合

**お名前・お電話番号・メールアドレス**を必ずご記載の上、「オンライン講義の申し込み」の旨をお伝えください。

その後、担当者が折り返しご連絡差し上げます。